四国電力㈱の需要家サービスシステム“OpenPLANET”

家高順一*　保坂丈世+
合田忠弘**
久山和宏***

要　旨

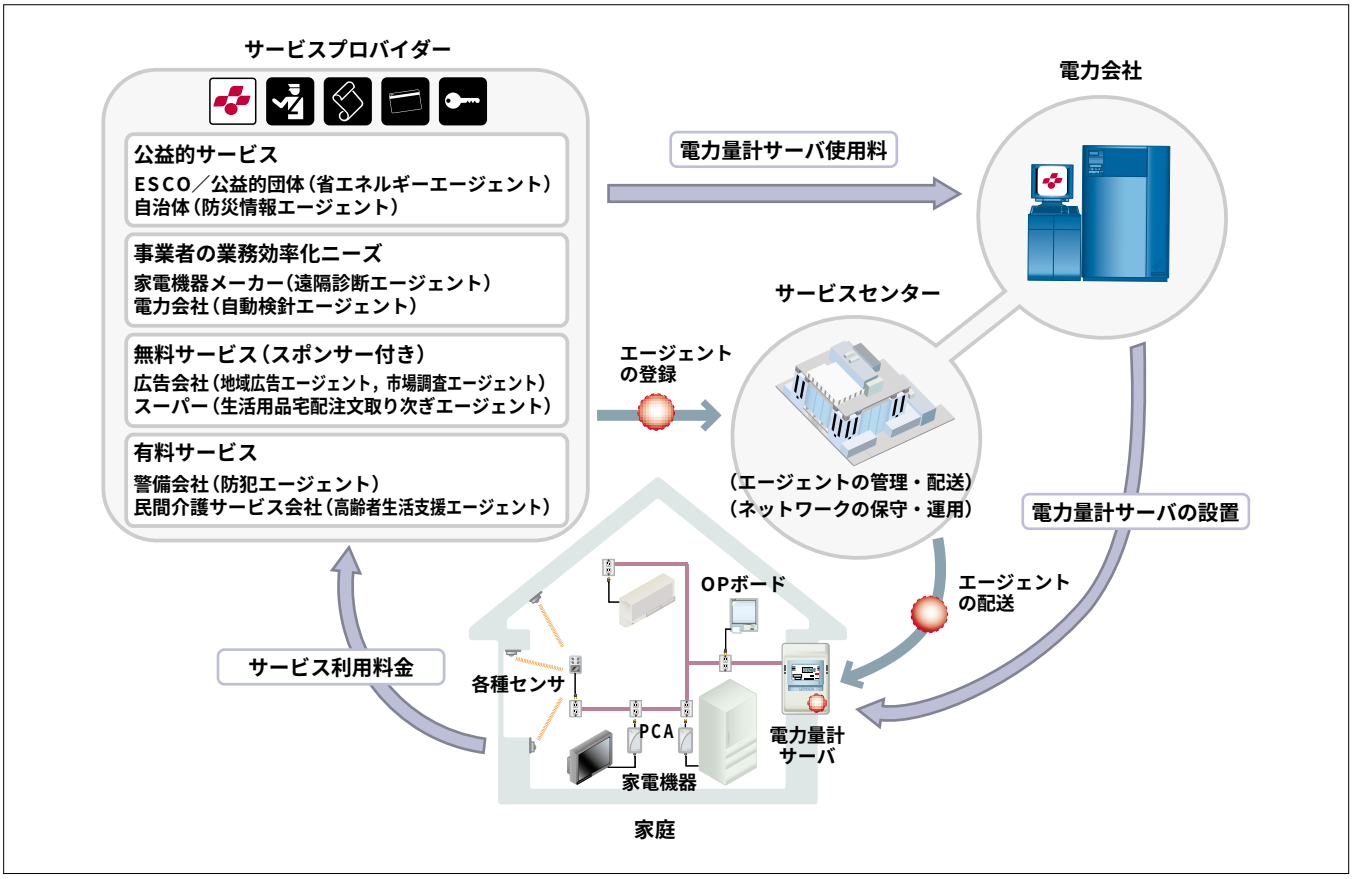
エネルギー事業者への規制緩和や競争原理の導入に伴い，電力会社等の公共事業体は，新たな収益源の確保という観点から新事業の開拓に注力している。2003年以降更なる規制緩和が検討されており，電力会社と最終需要家の関係は，従来の独占的電力供給の時代から特定規模電気事業者との価格競争の時代を経て，近い将来には，エネルギーサービス事業者との間でのサービス内容の競争時代へと移っていくことが予想される。

一方，通信技術の普及には著しいものがあり，付加価値の高い情報を低価格で広範囲に提供することが可能となってきており，電力会社及びその関連会社は，事業用に布設してきた専用通信回線や公衆回線を有効活用することで，需要家への付加価値情報配信サービス事業や付加価値サービスそのものへの事業展開を模索している。

この分野において四国電力㈱の“オープンプラネット（OpenPLANET）”は最も完成度の高いビジネスモデルであり，2001年３月から一般需要家を対象に試験営業が実施されている。オープンプラネットは，電力量計に小型サーバを組み合わせた電力量計サーバを各家庭に設置し，エージェントという形態でこのインフラに対して各種サービスを提供するものである。家庭内に設置されたOPボード（簡易表示端末）や家電機器とは電力量計サーバの特長を生かすために電力線搬送技術を使いネットワークを構成している。

三菱電機は，この試験営業システムの開発委託を受け，センター系装置を含むシステム全体に関与してきた。

（注）“OpenPLANET”は，四国電力㈱の登録商標である。



オープンプラネットシステムの概要

電力会社が各家庭に通信機能付きサーバコンピュータを内蔵した新型の電力メータ（これを電力量計サーバという。）を設置し，この電力量計サーバの上でネットワークを高度に利用する遠隔監視・制御技術であるオープンプラネットを動作させ，各種サービスを提供可能とする新社会インフラを構築する。

*四国電力㈱　**三菱電機㈱系統変電・交通システム事業所　***同電力・産業システム事業所
+同電力情報システム技術センター